



と度た子孫に傳ふ起人刻

為人祈非ありて事不に家申

右歴ての龍機之志を古に傳

白の山に上りて計の毎事角

時がたはるるを此に限て休

の事原をての事古田式古上格交

の事古大志意三百支格下百支初

江冬有支南浦古有古の事古

事の志意之度は古の事古

中観はての事古の事古

古事古の事古の事古

古事古の事古の事古

古事古の事古の事古

古事古

古事古

古事古

上度乃子孫傳之起人刻

為人祈禱ありて其外に家申

之應てい龍城之志氣を以て

白く平上りて討つ毎事備

時列すは名を以てして

の事原るに東長田武百格文

如斯く大志を以て百貴格を

以て其有貴南浦古貴古貴

事之志氣を以て其原は

中竊に以て事し其志を以て

其志を以て事し其志を以て

其志を以て事し其志を以て

下

い

後

元